

RV320およびRV325 VPNルータシリーズのポート設定/ポートステータスの表示

目的

RV320には4つのLANポートと2つのWANポートがあり、RV325には14のLANポートと2つのWANポートがあります。[ポート設定]ページは、ポート単位でポートミラーリングとパラメータを設定するために使用します。ポートのステータス・ページは、ポートの仕様と統計情報を表示するために使用します。

この記事では、インターフェイスの設定方法、インターフェイスの統計情報の表示方法、およびRV32x VPNルータシリーズでのポートミラーリングの設定方法について説明します。

該当するデバイス

- ・ RV320デュアルWAN VPNルータ
- ・ RV325ギガビットデュアルWAN VPNルータ

[Software Version]

- ・ v1.1.0.09

ポートの設定

ステップ1: Web構成ユーティリティにログインし、[Port Management] > [Port Setup]を選択します。「ポート設定」ページが開きます。

Port ID	Interface	Disable	Priority	Mode
1	LAN	☐	High	Auto Negotiation (Gigabit)
2	LAN	☐	Normal	Auto Negotiation (Gigabit)
3	LAN	☒	Normal	Auto Negotiation (Gigabit)
4	LAN	☐	Normal	100Mbps Full
5	WAN1	☒	Normal	Auto Negotiation (Gigabit)
6	WAN2	☒	Normal	Auto Negotiation (Gigabit)

ステップ2: (オプション) ポート1をミラーポートとして設定するには、[ミラーポートを有効にする(ポート1)]をオンにします。ポートミラーリングは、インターフェイスの問題のトラブルシューティングに使用される診断ツールです。ポートミラーリングは、有効なポートから各入出力パケットのコピーをミラーポートに転送し、そのポートでパケットを調査でき

ます。たとえば、上記の図では、ポート2と4で送受信されたすべてのパケットがポート1に転送されます。

注：MACアドレスの複製が有効になっていると、ポートミラーリングは機能しません。

注：1つのポートをミラーリングするには、不要なポートをすべて無効にします。

注：WANポートはミラーリングできません。

ステップ3：ポートテーブルで次のパラメータを設定します。

- ・ ポートID：このフィールドには、デバイスのポートを識別する番号が表示されます。
- ・ インターフェイス：このフィールドには、インターフェイスのタイプが表示されます。
- ・ Disable：インターフェイスを無効にするには、このチェックボックスをオンにします。
- ・ プライオリティ：ドロップダウンリストから、インターフェイスのプライオリティレベルを選択します。優先順位の高いインターフェイスからのトラフィックは、通常の優先順位のインターフェイスからのトラフィックよりも先に送信されます。
- ・ モード：ドロップダウンリストから、インターフェイスの速度とデュプレックスモードを選択します。半二重モードでは、接続された2つのデバイス間の通信が一方向の通信に制限されます。つまり、一方のデバイスだけが同時に送信でき、もう一方のデバイスはリッスンできます。全二重モードでは、接続された2台のデバイスが同時にデータを送信できます。このオプションは、インターフェイスに接続されているデバイスの機能に基づいて選択する必要があります。
- Auto Negotiation(Gigabit)：インターフェイスで自動ネゴシエーションを有効にします。オートネゴシエーションは、接続された2台のデバイスが伝送機能を共有するテクノロジーです。これにより、デバイスは両方のデバイスが共有する速度とデュプレックスモードを選択でき、最終的に最高のパフォーマンスを実現できます。
- 10Mbps Half：インターフェイスの速度は10 Mbps/秒で、半二重モードです。
- 10Mbps Full：インターフェイスの速度は10 Mbpsで、全二重モードです。
- 100Mbps Half：インターフェイスの速度は100 Mbps/秒で、半二重モードです。
- 100Mbps Full：インターフェイスの速度は100 Mbpsで、全二重モードです。

ステップ4:[Save]をクリックします。ポート設定が保存されます。

ポートの状態

ステップ1:Web構成ユーティリティにログインし、[Port Management] > [Port Status]を選択します。[ポートの状態]ページが開きます。

Port Status								
Ethernet Table								
Port ID	Type	Link Status	Port Activity	Priority	Speed Status	Duplex Status	Auto Negotiation	
LAN1	10Base-T / 100Base-TX / 1000Base-T	Up	Enabled	High	1000Mbps	Full	Enabled	
LAN2	10Base-T / 100Base-TX / 1000Base-T	Down	Enabled	Normal	10Mbps	Half	Enabled	
LAN3	10Base-T / 100Base-TX / 1000Base-T	Down	Disabled	Normal	10Mbps	Half	Enabled	
LAN4	10Base-T / 100Base-TX / 1000Base-T	Down	Enabled	Normal	10Mbps	Half	Disabled	
WAN1	10Base-T / 100Base-TX / 1000Base-T	Down	Disabled	Normal	10Mbps	Half	Enabled	
WAN2	10Base-T / 100Base-TX / 1000Base-T	Down	Disabled	Normal	10Mbps	Half	Enabled	
Refresh								

インターフェイスの概要を次に示します。

- ・ ポートID：インターフェイスのID名。
- ・ Type：イーサネット接続のタイプ。
- ・ リンクステータス：ポートの現在の接続ステータス。
- ・ ポートアクティビティ：ポートの現在の状態
- ・ プライオリティ：インターフェイスのプライオリティレベル。
- ・ 速度ステータス：インターフェイスの現在の速度。
- ・ Duplex Status：現在のデュプレックスモード。
- ・ オートネゴシエーション：オートネゴシエーション機能の現在の状態。

ステップ2: (オプション) [ポートステータス]ページを更新するには、[更新]をクリックします。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。